



2024年6月11日

各 位

会 社 名 クリングルファーマ株式会社
住 所 大阪府茨木市彩都あさぎ七丁目7番15号
彩都バイオインキュベータ207
代 表 者 名 代表取締役社長 安達喜一
(コード番号:4884 東証グロース)
問い合わせ先 取締役経営管理部長 村上浩一
TEL.072-641-8739

米国の脊髄損傷に関するシンポジウム 「2nd Annual Spinal Cord Injury Investor Symposium」での 講演のお知らせ

当社は、代表取締役社長の安達喜一が、米国で開催される脊髄損傷に関するシンポジウム「2nd Annual Spinal Cord Injury Investor Symposium (2024年6月26日~27日、於米国カリフォルニア州サンディエゴ)」において、脊髄損傷急性期に対するオレメペルミン アルファ (組換えヒト HGF タンパク質) の創薬開発の現状と今後の展望について下記の通り講演を行いますので、お知らせいたします。

記

講演日時： 2024年6月27日(木) 14:15~14:30 (米国太平洋夏時間)
14:30~15:15 パネル質疑応答セッション
会場： Sanford Consortium for Regenerative Medicine, Roth Auditorium
演題： Oremepermin alfa as a novel therapeutic agent for the treatment of acute spinal cord injury

本シンポジウムは、クリストファー&ダナ・リーブ財団、米国カリフォルニア州再生医療機構 (CIRM) 及び米国リニエージ・セル・セラピューティクス社が共催する、脊髄損傷に関するシンポジウムです。脊髄損傷の研究や治療法の開発に興味を持つ製薬・バイオテック企業、投資家、患者団体、研究者、医学専門家が一堂に会し、最新の研究開発の進捗やビジネス機会について議論します。詳細については、本シンポジウムのウェブサイトをご参照ください。

<https://scisymposium.com/>

以上

オレメペルミン アルファ (組換えヒト HGF タンパク質) について

オレメペルミン アルファは、当社が開発する遺伝子組換えヒト肝細胞増殖因子 (HGF) の医薬品一般的名称です。オレメペルミン アルファは、692 個のアミノ酸残基からなる糖タンパク質 (分子量: 約 84,000) で、CHO 細胞により産生されます。

HGF は、成熟肝細胞の増殖を促進する因子として発見された生理活性タンパク質であり、その後の研究から細胞増殖のみならず、細胞運動促進、抗細胞死、形態形成誘導、血管新生など様々な組織・臓器の再生と保護を担う多才な生理活性を有することが明らかにされました。

HGF は神経保護作用や軸索伸展作用も有し、神経難病とされる脊髄損傷に対する薬理効果は、慶應義塾

大学再生医療リサーチセンター 岡野栄之教授及び医学部整形外科学教室 中村雅也教授らのグループの研究により明らかにされています。新たな脊髄損傷治療薬として、HGF への期待が高まっています。

クリストファー&ダナ・リーヴ財団について <https://www.christopherreeve.org/>

クリストファー&ダナ・リーヴ財団は、脊髄損傷に苦しむ人々を支援するために俳優クリストファー・リーヴとその妻であるダナ・リーヴによって設立された米国ニュージャージー州に本部を置く慈善団体です。

同財団は、脊髄損傷の新規治療法につながる革新的な研究を支援し、麻痺を抱える患者様や家族の生活の質を向上させることを目指しています。同財団はこれまでに1億4000万ドル以上を革新的な研究に投資しており、脊髄損傷の治療法の進歩に大きく貢献しています。

カリフォルニア州再生医療機構 (CIRM) について <https://www.cirm.ca.gov/>

カリフォルニア州再生医療機構 (CIRM: California Institute for Regenerative Medicine) は、アンメット・メディカル・ニーズの高い疾患を対象とした研究開発と再生医療の推進を目的として、米国カリフォルニア州の住民投票により設立された公的機関です。

CIRM は、幹細胞研究や臨床試験の支援、教育プログラムの提供などを通じて再生医療の進歩を促進しています。

リニエージ・セル・セラピューティクス社について <https://lineagecell.com/>

リニエージ・セル・セラピューティクス社は、画期的な細胞治療法の開発に取り組む臨床ステージのバイオテクノロジー企業で、本社は米国カリフォルニア州にあります。

同社は、脊髄損傷を対象とするオリゴデンドロサイト前駆細胞 (OPC1) の研究開発を行っており、亜急性期頸髄損傷患者を対象とする第 I / IIa 相臨床試験を終了しています。

クリングルファーマ株式会社について <https://www.kringle-pharma.com/>

当社は「難治性疾患治療薬の研究開発を行い、難病に苦しむ患者さんに対して画期的な治療手段を提供し、社会に貢献すること」を企業理念とし、希少疾病を対象にオレメペルミンアルファ (組換えヒト HGF タンパク質) の医薬品開発を推進するバイオベンチャー企業です。

現在、オレメペルミンアルファのレイトステージの開発パイプラインでは、脊髄損傷急性期を対象とする開発が第 III 相臨床試験を終了し、声帯瘢痕を対象とする開発は第 III 相臨床試験を実施中です。

当社は、オレメペルミンアルファの社会実装を通じて新たな価値を創造し、人々の健康と幸せに貢献してまいります。